

新丸山ダム周辺地域振興ビジョン「魅力をつなぐプロジェクト」 ～令和7年度検討・実施したプロジェクト～

- グルメプロジェクト** : 2市2町の地域行事（グルメイベントなど）に参加し、2市2町の観光情報や新丸山ダム建設事業等を周知・理解促進
- 自然アクティビティプロジェクト** : 自然資源（丸山ダムに集積した流木）を活用したアート作品の製作
- 防災プロジェクト** : ダムと2市2町の観光・防災情報をまとめた「観光×防災パンフレット」の製作
- 情報発信プロジェクト①** : 観光アプリ「Spot Tour」を活用した観光モデルコースの情報発信
: 2市2町の観光施設へ「新丸山ダム水源地域協議会ブース」の設置
- 情報発信プロジェクト②** : 2市2町の観光施設とダムを巡るデジタルスタンプラリーの実施
: 2市2町のゆるキャラを活用した「観光×防災パンフレット」の広報力強化

新丸山ダム周辺地域振興ビジョンの振り返り

■新丸山ダム水源地域協議会として目指す地域振興について

【地域振興の軸（ビジョン本文の内容より）】

①資源を磨き、発掘し、つなげる (魅力を高める)

☆多様で豊富な地域資源を磨き、新たな資源の発掘を行う。

☆地域らしさを大切に、多様な資源をつなげてネットワーク化する。

②来訪者や関係人口を増やす (人を集める≡ダム見学者に2市2町の周遊を促す)

☆関係する行政機関や経済団体が連携し、充実したネットワークを形成し、新たな来訪者や移住者を呼び込む。

☆地域で暮らす人が豊かに暮らし、賑わいのある地域をはぐくむ地域振興により、地域への愛着・誇りを醸成する。

③地域経済の好循環を生み出す (消費の活性化)

☆情報発信力を向上し、サービス、製品の付加価値を高め消費行動を高める。

☆新しいニーズに対応したサービス、商品開発を行い、リピーターの創出につなげ持続的に地域経済への好循環を生み出す。

新丸山ダム周辺地域の目指す地域振興

【地域資源】豊かな自然、日本らしい美しい景観、懐かしい原風景、歴史的に価値の高い文化財、地域の伝統芸能、食文化



○情報発信力を向上し、サービス、製品の付加価値を高めます。
○地域の特徴を活かしたターゲティング、ブランディングを行います。
○新しいニーズに対応したサービス、商品開発を行います。

資源を磨き、発掘し、つなげる
(魅力を高める)

○豊富な地域資源を活かし、さらに磨きをかけて優れた資源に成長させます。
○新たな資源を発掘し育てます。
○多様な資源をつなげて、ネットワーク化します。

地域の目指す地域振興
周辺地域の魅力を高め、満足度を継続的に高める

地域経済の好循環を生み出す
(消費の活性化)

来訪者や関係人口を増やす
(人を集める)

○関係する行政機関や経済団体等が連携し、様々な取り組みに付加価値を与えます。
○充実したネットワークの形成により、新たな来訪者や移住者を呼び込みます。
○地域で暮らす人が豊かに暮らし、賑わいのある地域をはぐくむ地域振興により、自らの地域への愛着・誇りを醸成します。

リピーターの創出につなげ持続的に地域経済の好循環を生み出す

※新丸山ダム周辺地域振興ビジョン（令和4年度策定）

⇒今年度は特に、①・②を重点的に実施した。協議会WGでの意見交換を通じて、2市2町・ダム関係機関が連携した「観光×防災パンフレット」の製作をはじめ、多数のアクションプランを実施することができた。

⇒ダム周辺地域の様々な観光資源の発掘や、2市2町のつながり（ネットワーク）を強化することができた。

令和7年度 ワーキンググループ

○魅力をつなぐプロジェクトの各アクションプランの検討にあたり、計3回のワーキンググループを実施した。

参加機関：瑞浪市、恵那市、八百津町、御嵩町、関西電力（株）、国土交通省木曾川水系ダム総合管理事務所、新丸山ダム工事事務所

第1回

6/24(火)
参加者16名

【議事】

- (1)令和6年度の新丸山ダム水源地域協議会・WGの振り返り
- (2)令和7年度のWGの目的・位置づけ、進め方について
- (3)意見交換

【テーマ】令和7年度実施するアクションプランと世話人の検討



7月末～8月上旬：関係機関と新丸山ダム工事事務所による個別打合せ

第2回

9/1(月)
参加者13名

【議事】

- (1)ダムを活用した地域振興及び過年度の活動内容について
- (2)各機関様との個別協議の結果について
- (3)意見交換

【テーマ】2市2町の観光・防災情報と新丸山ダム建設事業を紹介する「観光×防災パンフレット」の掲載内容などについて



11月上旬～中旬：関係機関と新丸山ダム工事事務所による個別打合せ

第3回

12/25(木)
参加者11名

【議事】

- (1)今年度の振り返りと来年度の活動について
- (2)2市2町とダムを巡る「観光×防災パンフレット」について
- (3)意見交換

【テーマ】2市2町の周遊性を向上させる「観光×防災パンフレット」への仕掛けについて



第7回協議会
2/27(金)本日

【議事】

- (1)今年度の活動内容の報告
- (2)アクションプランの更新内容の報告

昨年度の協議会でいただいた意見を踏まえた、今年度の活動内容について

- ・昨年度の協議会にて各首長様からいただいた意見を踏まえ、今年度の活動内容を整理した。

各首長様からいただいた意見（R7.2.17 第6回協議会）

【水野瑞浪市長】

- ・ **グルメが地域共通の資源**であり、**継続した連携と規模拡大が重要**
- ・ 先進的な技術を活用した工事現場の見学も、新たな観光資源であり、ダム事業と合わせて、**下流域を含めた防災教育の普及も重要**
- ・ 今後、地域に愛着を持った個々人に焦点を当て、更なる魅力向上に繋げていく方針である。

【小坂恵那市長】

- ・ 2市2町の連携は重要であり、更なるファン開拓に繋げられる。
- ・ ダム周辺整備により、八百津町とのアクセスが向上するため、完成形を見据えて今から仕掛けていけると良い。
- ・ 新規の取り組み案として、**各市町の桜や紅葉等の名所を繋げ、フォトコンテストの実施**など、オンラインを活用してはどうか
- ・ **各市町の既存グルメイベントと継続した連携**を図っていきたい。

【金子八百津町長】

- ・ 防災プロジェクトについて、社会科の副読本の製作が一つ目に見える形で成果として完成したことを評価している。
- ・ 防災協定を締結している下流域の自治体と防災講演会を通じて交流する機会があり、**防災を通じた上下流交流も必要**である
- ・ **町の観光資源である杉原千畝記念館や、ハヤブサミュージアムについても、協議会と連携しながら活用を図っていけると良い。**

【渡辺御嵩町長】

- ・ **「よってりゃあみたけ」での協議会の出展**など、広域的な繋がりについては、非常に重要であり、**今後も継続して連携していきたい**
- ・ 「みたけのええもん」と題し、特産品等の認定を行っており、商品それぞれが完成までのストーリーを重視して情報を発信している
- ・ 2市2町の取組では、歴史文化も共通資源であり、城跡や中山道等を活用し、県とも協力インバウンド含め、周遊を促進したい
- ・ 水の循環や環境を切り口に、**下流域への防災情報発信が必要**
- ・ 町政70周年を迎え、町内外を結び付けて、誘客につなげたい。

【小森関西電力(株)東海支社長】

- ・ 防災教育について、**他では中々見られないダム建設技術を子ども達に知ってもらい、地域に対する愛着を持ってもらう**ことも重要

令和7年度検討・実施したアクションプラン

グ ル メ	<p>No1. 2市2町のイベントに水源地域協議会として出展 ⇒2市2町の地域行事（グルメイベントなど）へ参加し、2市2町の観光情報や新丸山ダム建設事業等の周知・理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【瑞浪市】 11/16（日）瑞浪市農業祭 ・ 【恵那市】 11/3（月・祝）阿木川ダムオータムフェス ・ 【八百津町】 11/8（土）～9（日）八百津町産業文化祭 ・ 【御嵩町】 10/18（土）よってりゃあみたけ
自 然	<p>No4. 流木を活用したアートイベントの実施 ⇒自然資源（丸山ダムに集積した流木）を活用したアート作品の製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【八百津町】 8/2（土）八百津町70周年式典や八百津町ファミリーセンターで製作された流木アートを設置
防 災	<p>No7. ダム見学や防災情報の発信を起点とした2市2町の周遊促進 ⇒2市2町の観光・防災情報と新丸山ダム建設事業を紹介する「観光×防災パンフレット」の製作</p>
情 報 発 信	<p>No8. SNSを活用した情報発信/観光アプリ「Spot Tour」を活用した情報発信 ⇒観光アプリ「Spot Tour」を活用した観光モデルコースの情報発信</p> <p>No9. 各観光施設等における観光情報やダム情報の発信 ⇒2市2町の観光施設へ「新丸山ダム水源地域協議会ブース」の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【恵那市】 恵那峡ビジターセンター ・ 【八百津町】 ハヤブサミュージアム <p>No10. 協議会ロゴマークの作成及び活用 ⇒No1の各市町のイベントや、No7のパンフレットへ協議会ロゴマークを活用</p> <p>No11. 2市2町の周遊を促進するポイントラリーの実施 ⇒2市2町の観光施設とダムを巡るデジタルスタンプラリーの実施</p> <p>No12. 各機関のゆるキャラを活用した広報の強化 ⇒2市2町のゆるキャラを活用した「観光×防災パンフレット」の広報強化</p>

プロジェクト実施内容：グルメプロジェクト

■アクションプラン・実施背景

No1. 「2市2町のイベントに水源地域協議会として出展」

2市2町の地域行事（グルメイベントなど）へ参加し、各市町の観光情報や新丸山ダム建設事業等の周知・理解促進を図った。

■成果・効果

⇒新丸山ダム水源地域協議会ブースとして、2市2町の観光パンフレットや新丸山ダム建設事業の周知を行い、ブース来訪者や出店事業者の方々に、2市2町の魅力周知やダム事業の理解促進を図ることができた。

⇒2市2町それぞれのイベントで、それぞれの市町の魅力を発信することで、2市2町及びダム関係機関のつながりの強化や新丸山ダム周辺地域の魅力を周知できた。

⇒協議会やWGを通して出店事業者を募集し、普段の活動地域と異なる地域で出張出店いただくことで、2市2町の事業者間の交流促進や消費活性化に寄与することができた。

■今後の取り組み

⇒来年度も各市町の地域行事にて継続的に協議会ブースを出展し、2市2町の食文化を通じて、新丸山ダム水源地域全体の相互交流や地域活性化を図っていく。

○11/16（日）瑞浪市農業祭



- ・2市2町の観光パンフレットや新丸山ダム周辺地域観光マップを多くの方が手に取っていただきました。
- ・主催者（JAの方）から、「来年も継続して出展いただきたい」というお声をいただきました！

○11/3（月・祝）オータムフェスティバルin阿木川ダム

- ・多くのダム愛好家が来訪し、新丸山ダム周辺地域振興の取り組みに興味を持っていただけました！
- ・新丸山ダム周辺地域の観光マップやダムカードを、多くのダム愛好家の方に手に取っていただきました！



○11/8（土）～9（日）八百津町産業文化祭



- ・新丸山ダム工事事務所ブースにて、新丸山ダム水源地域協議会や2市2町の観光情報について紹介！

○10/18（土）よってりゃあみたけ

- ・瑞浪市の「和食ダイニングさくらや」が御嵩町に出張出店！
- ・「昨年続き、今年も御嵩町で出店できて嬉しい。御嵩町の方々と交流できて嬉しい」とお声をいただきました!!
- ・本協議会・WGを通じて、地域の垣根を超えた交流ができました。



プロジェクト実施内容：自然アクティビティプロジェクト

■アクションプラン・実施背景

No4. 「流木を活用したアートイベントの実施」

丸山ダムで多くの流木が「ダムごみ」として処分されている現状を踏まえ、流木を活用したアート作品の製作を実施

- ・八百津町地域おこし協力隊フラワーデザイナー堀氏が、製作した「フラワーアート」を八百津町70周年式典や八百津ファミリーセンターに設置
- ・木曽川高校美術部の生徒による流木アート作品の製作。
3/4（水）～3/8（日）に瑞浪市総合文化センターで展示予定。

■成果・効果

⇒流木の有効活用を行うことで、**流木処理コスト削減や環境への寄与に繋がる、流木の新たな活用策の発見に繋がった。**

■今後の取り組み

⇒流木の有効活用をさらに促進するため、NO.1グルメプロジェクト内で出展した各市町のイベントにおいて、**「関西電力グループによる流木を活用したコースター作り体験ブース」**を来年度設置予定。

⇒WG内で、八百津町が管理する**「めい想の森」**の管理に**流木を有効活用できないか、というアイデアも出たため、流木の有効活用について引き続き検討していく。**

(例) 流木をチップにして散策路や土留めに活用 など



丸山ダムに集積した流木



八百津町地域おこし協力隊フラワーデザイナー堀氏によるフラワーアート



木曽川高校美術部（一宮市）の生徒による流木アート
※写真右の作品名：「前世」

プロジェクト実施内容：防災プロジェクト

■アクションプラン・実施背景

N07. 「ダム見学や防災情報の発信を起点とした2市2町の周遊促進」

個人観光客やダム見学者などを対象に、2市2町の周遊を促すため、2市2町の観光情報や、ダムの役割や2市2町が取り組んでいる防災情報などを掲載した、「観光×防災パンフレット」を製作

■成果・効果

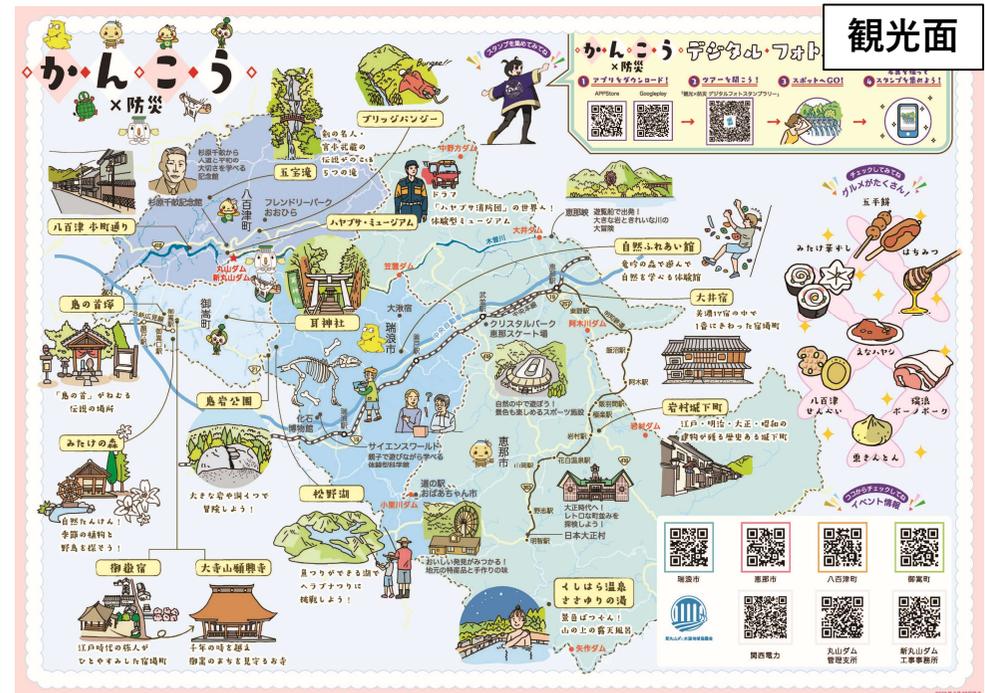
⇒2市2町の担当者が推したい観光スポットや、取り組んでいる防災情報などを、協議会やWGなどで議論を行い、新丸山ダム周辺地域の魅力を周知するコンテンツを製作できた。

⇒ファミリー層を主なターゲットとして親子2世代にアプローチすることで、子ども達が新丸山ダム水源地域に対する理解を深め、愛着醸成に繋がるコンテンツを製作できた。

⇒ダムの機能や役割、新丸山ダム建設事業の紹介など、ダム事業の理解促進に資するコンテンツを製作できた。

■今後の取り組み

⇒来年以降、2市2町の小学校での配布や観光施設での設置など、2市2町とダム関係機関が連携した配布・設置を目指していく。



プロジェクト実施内容：情報発信プロジェクト

■アクションプラン・実施背景

- No8. 「観光アプリ「Spot Tour」を活用した情報発信」
- No11. 「2市2町の周遊を促進するポイントラリーの実施」

観光アプリ「Spot Tour」を活用し、2市2町とダムを巡る観光モデルコースの情報を発信し、デジタルスタンプラリーを実施

■成果・効果

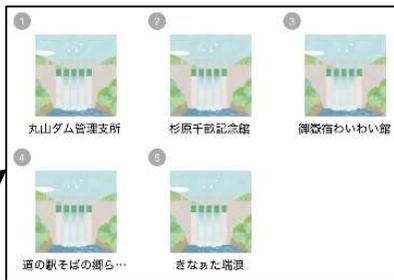
⇒2市2町とダムを巡るデジタルスタンプラリーにより、参加者へ2市2町の周遊を促すことができた。

○スポット箇所

- ・丸山ダム
- ・杉原千畝記念館
- ・御嵩宿わいわい館
- ・道の駅そばの郷 らっせいみさと
- ・きなあつ瑞浪



観光アプリ「Spot Tour」画面



丸山ダム70周年記念デジタルスタンプラリー



■アクションプラン・実施背景

- No.9 「各観光施設等における観光情報やダム情報の発信」

2市2町の観光施設へ「新丸山ダム水源地域協議会ブース」として、2市2町の観光パンフレットや観光ビデオの放映、新丸山ダム建設事業の紹介などを実施

- ・【恵那市】 恵那峡ビジターセンター
- ・【八百津町】 ハヤブサミュージアム

■成果・効果

⇒2市2町の観光施設の来訪者に対し、2市2町の魅力周知やダム事業の理解促進を図ることができた。

■今後の取り組み

⇒来年度以降も設置施設を拡大し観光×防災パンフレットと併せて2市2町の観光情報や新丸山ダム建設事業の周知を促進する。



恵那市恵那峡ビジターセンター



八百津町ハヤブサミュージアム

プロジェクト実施内容：情報発信プロジェクト

■アクションプラン・実施背景

No10. 「協議会ロゴマーク作成及び活用」

R5年度に八百津町と産学官の連携をしている「名古屋造形大学」の学生が製作したロゴマークを活用した情報発信として、今年度製作した「観光×防災パンフレット」にロゴマークを起用した。

■成果・効果

⇒新丸山ダム周辺地域の一体感を「見える形」で地域に根付かせる手段として、新丸山ダム水源地域協議会のロゴマークを引く続き活用することで、ロゴマークを地域共通の象徴として、協議会の存在や役割などをより明確に地域に伝えることができた。

■今後の取り組み

⇒来年度以降も **ロゴマークを積極的に活用し** 2市2町・ダム関係機関で連携した情報発信と、**サービス・製作品の付加価値の更なる向上**を図る。



新丸山ダム水源地域協議会

R5年度に製作した協議会ロゴマーク



各市町の地域行事（イベント）にて、ロゴマークを活用

■アクションプラン・実施背景

No12. 「各機関のゆるキャラを活用した広報の強化」

今年度製作した観光×防災パンフレットについて、各機関のゆるキャラを活用した。

■成果・効果

- ⇒2市2町やダム機関のゆるキャラを活用した「観光×防災パンフレット」を製作することで、幅広い世代への認知度向上に資するツールを製作できた。
- ⇒協議会構成機関のゆるキャラコラボによって、新丸山ダム水源地域協議会としての一体感を高めることができた。

■今後の取り組み

⇒今後製作するコンテンツがより手に取ってもらいやすくなるよう、**各市町のゆるキャラを積極的に活用し、各機関が連携した広報を実施する。**

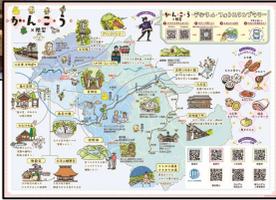


⇒今年度製作した「観光×防災パンフレット」

○使用キャラクター

- ・瑞浪市公式キャラクター デスモくん
- ・恵那市公式キャラクター エーナ
- ・八百津町公式キャラクター やおっち
- ・御嵩町公式キャラクター ミーモくん
- ・関西電力東海支社公式キャラクター カメ電ねん
- ・新丸山ダム工事事務所公式キャラクター しんまるくん
- ・丸山ダム管理支所公式キャラクター げんまるくん

今年度の成果と課題点のまとめ

	今年度実施した取り組み	効果 (Before - after)	コンテンツ・写真等
魅力を高める	<p>【グルメプロジェクト】 p5</p> <ul style="list-style-type: none"> 2市2町の観光情報などを、各市町のイベントにてそれぞれ周知し、ダム周辺地域全体の魅力を向上 <p>【自然アクティビティ】 p6</p> <ul style="list-style-type: none"> ダムの流木を活用したアート作品の製作・展示 <p>【防災プロジェクト】 p7</p> <ul style="list-style-type: none"> 2市2町の防災情報や新丸山ダム建設事業に加え、観光情報等を掲載した「観光×防災パンフレット」の製作 	<p>○2市2町とダム機関の連携による水源地域全体の魅力向上</p> <p>⇒2市2町のイベントでの各市町の魅力発信や、「観光×防災パンフレット」の製作、流木を活用したアート作品の製作などを通じて、周辺地域全体の魅力を向上させることができた。</p>	 
人を集める	<p>【防災プロジェクト】 p7</p> <ul style="list-style-type: none"> 「観光×防災パンフレット」により、個人観光客やダム見学者を対象とした2市2町への周遊促進 <p>【情報発信プロジェクト】 p8～p9</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光アプリを活用したデジタルスタンプラリーの実施 2市2町の観光施設における協議会ブースの設置 各機関のゆるキャラを活用した広報力の強化 	<p>○新丸山ダム水源地域の連携強化と認知度の向上</p> <p>⇒関係機関のゆるキャラを活かした「観光×防災パンフレット」の製作や、各市町での観光施設における情報発信やデジタルスタンプラリー等により、新丸山ダム周辺地域の連携強化及び認知度向上につながった。</p>	 
消費の活性化を促す	<p>【グルメプロジェクト】 p5, 【防災プロジェクト】 p7</p> <ul style="list-style-type: none"> 瑞浪市の事業者が御嵩町のイベントに出張出店するなど、各市町のグルメ交流 「観光×防災パンフレット」に各市町のおすすめグルメや観光施設など、周遊や消費を促す情報を掲載 <p>【情報発信プロジェクト】 p8～p9</p> <ul style="list-style-type: none"> 2市2町の観光施設などを巡るデジタルスタンプラリー 	<p>○地域経済への貢献</p> <p>⇒各市町のグルメイベントにて他市町の事業者が出張出店するなど、グルメ交流による消費活性化への寄与</p> <p>⇒2市2町のおすすめグルメや観光施設などをまとめたパンフレット製作など周遊や消費を促すコンテンツを製作</p>	 

★課題点 (ワーキンググループ内の意見より) :

- WGメンバー間で、ダムを観光資源とした地域活性化について、具体的なイメージが共有されていないように感じる。
- ⇒ダムを上手く活用している他地域の視察や直接話を聞く機会 (オンラインでもよい) があると、イメージが掴め、今後の活動の参考になるのではないか。
- 地域振興は、民間等の積極的な関与やWGメンバーの拡充などが必要だが、メンバーが増えるとコンセンサスが取りづらくなる等の課題が生じる可能性もあるため、慎重に判断しながら今後の体制を構築していく必要がある。

来年度以降の活動内容について

- ・今年度は、過年度の活動を継続しつつ、**過去最多のアクションプランを実施することができました。**
- ・また、2市2町すべての地域行事での協議会ブースの出展や、各機関のゆるキャラを活用したパンフレット製作などを通じて、**新丸山ダム水源地域協議会としての一体感が着実に形成され、協議会の取組が段階的に地域に浸透してきています。**
- ・来年度は、これらの活動を継続しつつ、更なる展開を図っていきます。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度（今年度）	令和8年度
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力をつなぐプロジェクトの作成 ○アクションプランの具体化 ○連携企画を一つでも試行 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災教育としての教育機関との連携 ○魅力をつなぐプロジェクトの推進・関係者の拡大 ○アクションプランの更新 	<ul style="list-style-type: none"> ○過年度の活動を継続しつつ、アクションプランを拡大 ⇒今年度、過去最多の活動を実施！ ○関係機関のつながり促進 ⇒2市2町全ての地域行事への出展や「観光×防災パンフレット」の製作等を通じて、一体感が醸成！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々なアクションプランを継続的に実施 ○アクションプランを継続的に実施するための体制構築 ○防災教育の更なる深化
実施内容	グルメプロジェクト 2市2町のイベントでの連携 等⇒木曾川上流域における広域連携、新丸山ダム周辺地域のブランド力の更なる向上			
	自然アクティビティプロジェクト 流木の活用 等⇒自然を活用した地域資源の磨きあげと廃材の有効活用による環境への配慮			
	防災プロジェクト 流域全体の防災教育の展開、ダム見学者を対象とした市町の周遊の仕掛け 等⇒地域資源と連携しながら最新技術の活用による防災力の強化			
	歴史文化プロジェクト 歴史文化を活用した周遊企画 等⇒地域資源を活用した広域連携			
	情報発信プロジェクト ロゴマークの活用、広域的なPR 等⇒他のプロジェクトと組み合わせた魅力の発信、新丸山ダム周辺地域のブランド力の更なる向上			
行事		新丸山ダム堤体 初打設	丸山ダム70周年、新丸山ダム定礎式	

新丸山ダム周辺地域が目指す地域振興(ビジョンより)：

『周辺地域の魅力を高め、満足度を継続的に高める』